

報道関係各位

SC販売統計調査報告2015年12月 既存SC前年同月比 :-0.1%

好調業種はレストランや生鮮三品、お客様は“食”を重視

<全体概況>

12月のSC販売額は天候不順や暖冬の影響で前年同月比が微減(-0.1%)となった。サンプル数は505SC。11月に続き暖冬の影響で、婦人服を中心にした重衣料、ブーツなどの靴や雑貨が不振で年末商戦を補うことができなかった。テナントは+0.1%と微増となったが、キーテナントは-0.6%という結果となった。

立地別では、周辺地域が+0.6%と健闘、中心地域は全体では±0%となったが大都市中心地域は+0.7%と健闘した一方、中都市と小都市の中心地域はそれぞれマイナス(小都市-2.2%、中都市-0.6%)と都市規模で格差がめだった。郊外地域は-0.5%となった。

地域別では、北海道(+2.0%)、東北(+1.6%)、中部(+1.2%)がプラスとなり、他の6地域はマイナスとなった。各地域の中でも東京区部や政令指定都市などの大都市(+1.2%)とそれ以外の都市(-1.0%)で格差が生じている。

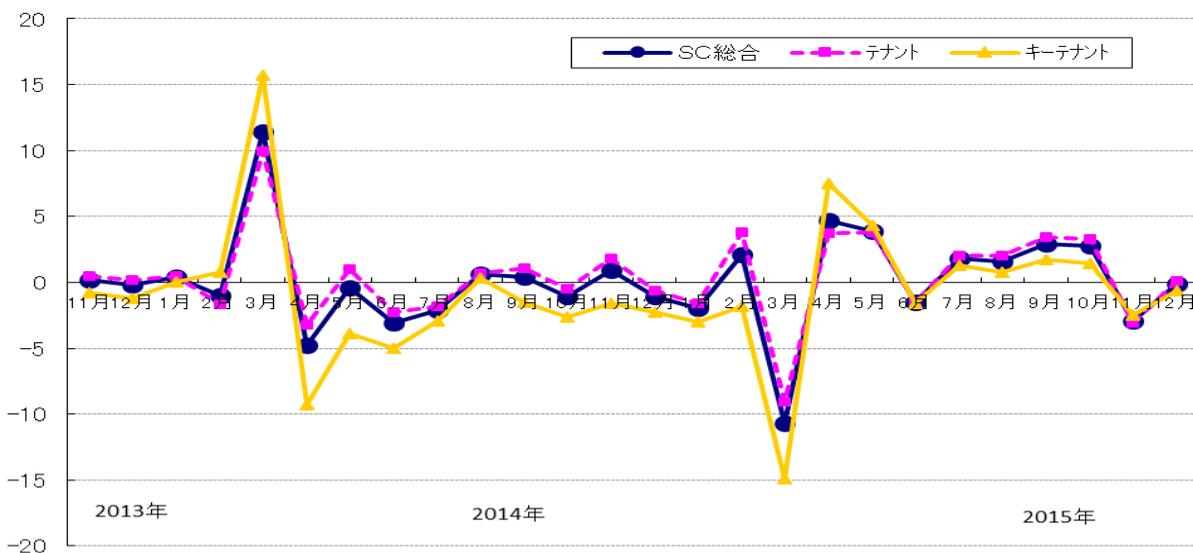
全体の不調要因としては、前述したように天候不順や暖冬の影響が挙げられるが、特に暖冬による婦人・紳士アパレルの売上不振をあげるSCが多くみられた。また、テナントの退店によって一時的に売上がダウンしたというSCも多くみられた。

売上向上策として、年末商戦にあわせて積極的にイベントを開催したSC、リニューアルを実施したSCもみられるが、売上のマイナスをカバーするまでには至らなかった。

<トピックス>

厳しい中でも好調業種としてテナントは飲食店、キーテナントは生鮮三品や加工食品をあげるSCが多くみられた。年末の宴会需要やボーナスを手に入れて家族で少しリッチな外食をするなど、“身に着けるもの”から“食”にこだわる傾向がみられる。

既存SC売上高伸長率推移



以上
この件に関するお問い合わせは 情報企画部:今井・原田
TEL: 03-3536-8121

※お手数料をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りくださいようお願い申し上げます。
掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。

